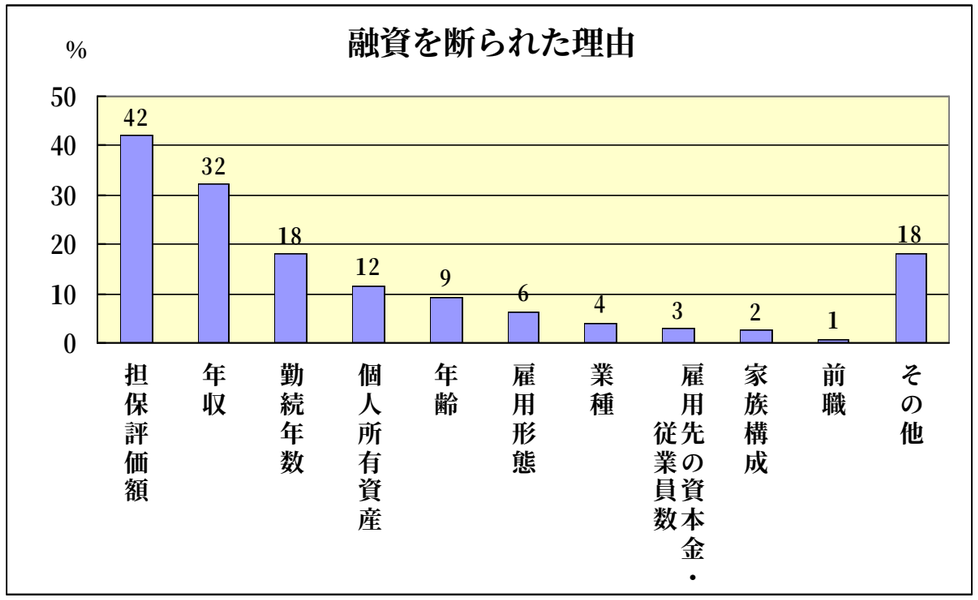
○融資を断られた具体例について

【融資を断られた理由】

住宅ローン利用者(予定者を含む)の約１割が民間金融機関から融資を断られたことがある。

その理由は、以下のように担保評価や年収ばかりではなく、勤続年数、年齢、雇用形態、業種まで多岐にわたる。



（資料）日本総合研究所が、アンケートへの回答を依頼するメールを送信、協力者はインターネットのホームページを通じて回答（平成１３年６月実施）

【住宅金融公庫の支店へ融資の相談をされた方々の声】

・銀行ローンは**母子家庭を理由に断られた。**（静岡、女性、40代）

・**心臓のペースメーカーを付けており、**銀行はどこも断られる。(東京、男性、30代)

・**転職後１年位**なので、銀行ではどこに相談しても無理であった。（千葉、男性、43歳）

・給与所得者だが銀行ローンは**会社が３年以上黒字決算でないと貸してもらえない。**(横浜、男性、59歳)

・100万、200万借りたいだけなのに、**銀行は小口の融資はしないといい、500万、600万なら融資をする**と言われた。(東京、女性、50代)

・**田舎になると、担保評価がないという理由で銀行ローンが使えない。**(熊本、大分、宮崎、鹿児島各県で複数)

・銀行は**自営業者（農業従事者）には融資をしない。**(宮城、男性、50代)

・銀行は、会社規模や業績を把握しているため、**地元企業に勤務している人には融資してくれない。**(秋田、男性、30代)

・**安定して1,000万円の収入があるのに、年齢が若いこと、飲食業に従事していることを理由に銀行ローンを断られた。**銀行は収入があっても年齢や職業で差別する。(新潟、男性、23歳)